



紀宝町(きほうちょう)



紀宝町における 歯科保健の取り組み

～ 生涯を通じた歯科・口腔保健 ～

平成25年日本公衆衛生学会自由集会
H25.10.24(木) 18:30～20:00
紀宝町役場健康づくり推進課 竹田仁香

紀宝町歯科保健プロジェクトチーム

(平成13年3月結成)

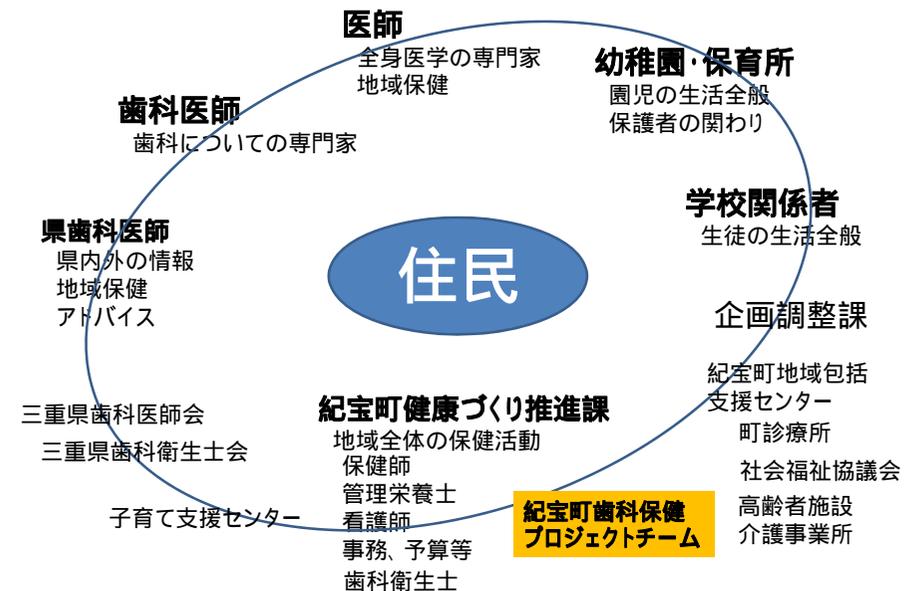
構成

町長・特別参与(医師)・町内歯科医師(全6名)・三重県健康福祉部医療対策局健康づくり課歯科医師(アドバイザー)・福祉課長・教育長・学校保健会長(学校長代表)・中学校養護教諭代表・小学校養護教諭代表・幼稚園長・保育所長代表・健康づくり推進課長・健康づくり推進課保健師長・健康づくり推進課歯科衛生士

歯科保健事業について

計画、実施、評価、見直し、共有

・年に1～2回の会議開催





胎児期 (妊娠中)

母子手帳の発行時
歯と口の健康ついて
動機付け(保健師)



プレママ教室

妊娠中の歯の健康
赤ちゃんの歯の健康のために
今からできること



RDテスト(昭和)

唾液中の
細菌数検査



模型上で歯
みがき指導

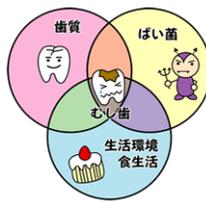


位相差顕微鏡

乳児期

乳幼児健診(4か月)

- ・家族みんなの歯と口の健康
- ・母乳と離乳食



離乳食教室(7・8か月)

- ・口の中の発育に合わせた嘔む学習
と離乳食の進め方

乳幼児健診(10か月)

- ・卒乳の必要性和時期
- ・歯の萌出状況
- ・赤ちゃんの歯みがき(歯ブラシ使用)
- ・夜中の授乳(リスクと対策)



子育て支援センターでの個別指導(随時)

歯みがき、生活習慣、指しゃぶり、おしゃぶり、おやつ、卒乳...など、なんでも相談・指導

幼児期(1歳半～3歳)

年間出生数 100人弱

歯科健診

各健診: 歯科医師 1人
記録係: 看護師1人

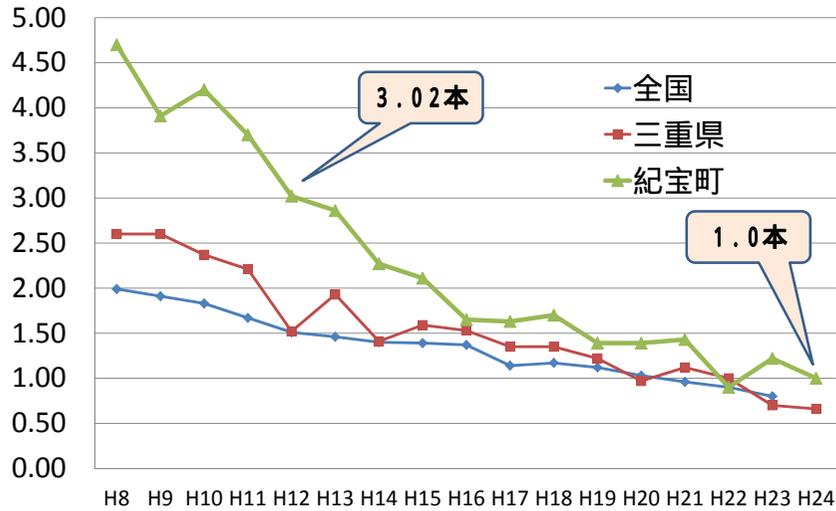
歯みがき指導とフッ化物歯面塗布
歯科衛生士 2人



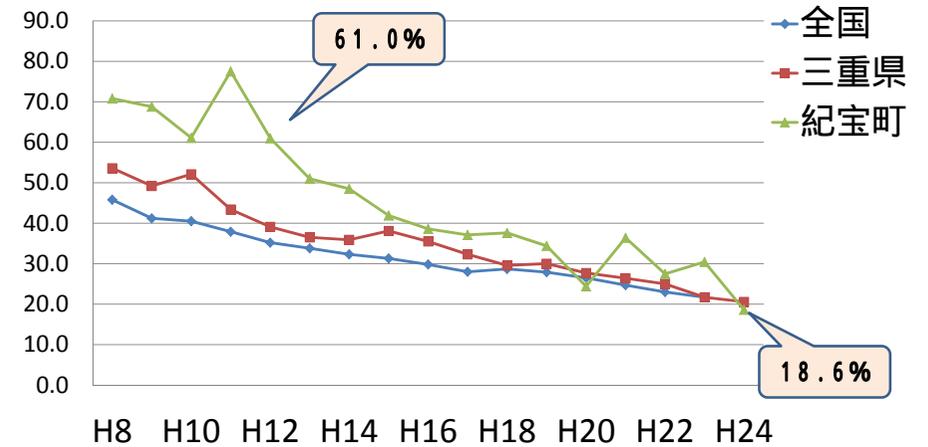
歯科医師 A B C D E F 6人

	1歳半 歯科健診	2歳 歯科健診	2歳半 歯科健診	3歳 歯科健診
4	A			E
5		C		
6	B		D	F
7		C		
8	A			E
9			D	
10	B	C		F
11				
12	A		D	E
1		C		
2	B			F
3			D	

3歳児一人平均う歯数(本)



3歳児むし歯有病者率(%)



幼児期(保育所・幼稚園)

フッ化物洗口事業 (平成24年度開始)

(24年度) 5歳児 90人中 89人 参加

(25年度) 5歳児 93人中 92人 参加
4歳児 102人中 100人 参加

現在 192人実施中

保護者説明会

園児向け歯みがき指導・水うがい指導
フッ化物洗口指導

～ 各保育所・幼稚園にて実施



保護者説明会資料

児童発達支援センターへの関わり

社会福祉法人:熊野市・御浜町・紀宝町・新宮市(和歌山県)
の未就学児を対象とした施設 (H25年訪問時 利用者数22人)

歯科健診:みえ歯ートネット事業

(歯科医師・歯科衛生士)

歯科健診後、保護者が参加する日に結果説明会実施

(歯科衛生士)

園児向け歯みがき指導・仕上げ歯みがき指導・保護者への歯科
保健指導と座談会

(保健師・歯科衛生士)



絵本

座談会では

予防のポイント・観察方法や歯
科医院への上手なかかり方・情報
交換など

学齡期 (小学生)

町内
小学校5校

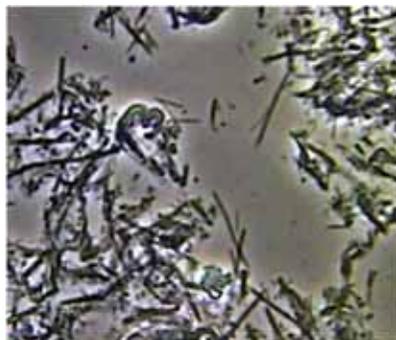
むし歯のでき方と予防



3つの約束

- ・よく噛んで食べる
- ・甘い食べ物や飲み物をだらだら食べない
- ・歯みがきはヌルヌルザラザラがなくなるまでみがく

保育所幼稚園から



位相差顕微鏡

学齡期 (中学生)

町内に2中学校、それぞれのカリキュラムに合わせて、歯科保健教育の計画・実施

- ・位相差顕微鏡
- ・パワーポイント
- ・歯みがき指導

むし歯
歯周病
予防方法
歯みがき
タバコの害



パワーポイントの一部

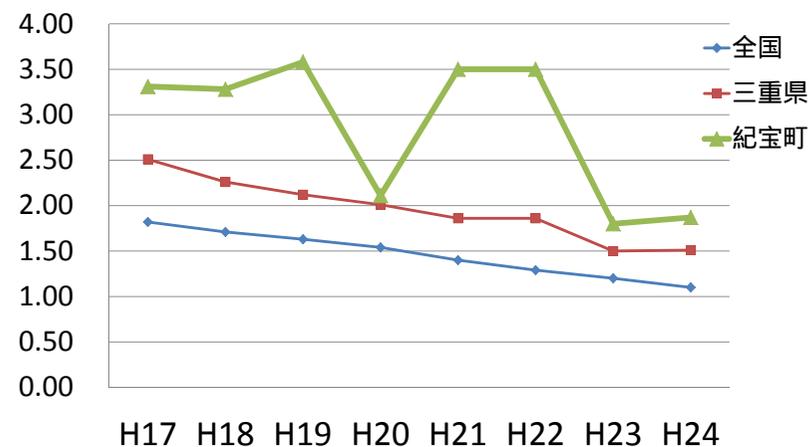
紀宝町歯科保健プロジェクトチーム

第二次目標 (H23年)

12歳児のむし歯を減らすこと

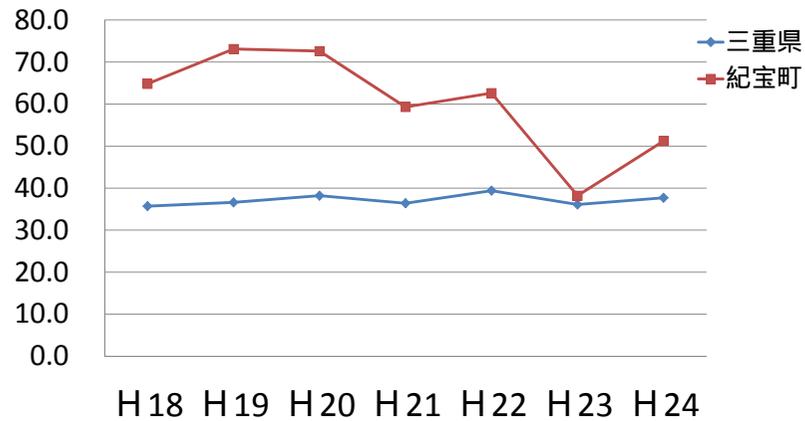
未処置のむし歯を減らすこと

12歳児一人平均むし歯数本数(DMFT)



三重の歯科保健より(三重県教育委員会調べ)

12歳児 むし歯の未処置歯率（％）



三重の歯科保健より(三重県教育委員会調べ)

40歳～

歯周疾患検診 (40・50・60・70・80歳)

(健康増進法40、50、60、70歳)

目的 検診を受けたあとの行動変容
→検診時の歯みがき指導を充実

歯科保健教室

糖尿病予防教室
栄養教室

目的 歯周病予防
全身の健康とのつながり
噛むことの大切さ



老年期

介護予防（運動・栄養・口腔）
地域包括支援センターが中心となり、
保健師・管理栄養士・看護師・歯科衛生士で
事業を計画、実施、評価
(運動指導士は外部から)

内容 誤嚥性肺炎の予防
入れ歯と上手に付き合う方法
唾液腺マッサージ
歌・口腔機能向上を目的としたゲーム



口腔ケアグッズ



媒体

集団指導の他、個別の歯科保健相談・指導も実施



歯科医師による講演会



風船バレー

寝たきり等、在宅における口腔に関する相談

在宅高齢者等の口腔の健康管理

個別

町の診療所医師・ケアマネジャー・介護者家族等からの
依頼で歯科衛生士が訪問し、状況を確認。

訪問歯科診療・訪問看護につなげる
または 歯科衛生指導を行う。

ポピュレーション

・介護施設や介護事業所などに向けた研修会
・介護者家族向け勉強会

広報きほう



イベント 健康まつり

- ・歯科健診
- ・フッ化物洗口体験
- ・入れ歯の洗浄サービス
- ・表彰式

歯っぴいスマイル賞
むし歯のない5歳児



8020賞
80歳以上で20本以上の歯



災害時の歯科的支援

平時からの歯と口に対する意識を高めるための努力が必要。

様々な職種、医療機関、施設等のネットワークが大切であり、ニーズに応じた支援のためには、それまでの取り組みが必要。

口腔ケアは3回の食事と同じく
することはできません。
被災後も被災前と変わらず
1日3回の口腔ケアをやっていました。
(特別養護老人ホーム宝寿園スタッフより)



飛雪の滝

ご清聴ありがとうございました

